

当初の年間指導計画（横浜版学習指導要領で示した年間単元配列表）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
第3学年	体づくり運動⑥ (ほぐし⑥)	走・曹の運動⑩ (かけっこ・リレー・小型ハードル・高跳び)		保健④	浮く・泳ぐ運動⑩	表現運動⑩ (表現・リズムダンス)	器械運動⑨ (鉄棒)	ゲーム⑨ (ネット型)	器械運動⑨ (マット)	体づくり運動⑮ (多様な動きをつくる運動)	器械運動⑦ (跳び箱)	ゲーム⑧ (ゴール型)

再編成後の年間指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
第3学年	各学校からの課題に応じた家庭学習		体づくり運動⑩ (ほぐし④) (移動・バランス⑥)		水泳運動① 保健④(健康な生活)	表現運動⑨ (表現・リズムダンス)	陸上運動⑮ (短距離走・リレー、ハードル走、高跳び)	器械運動⑥ (跳び箱)	器械運動⑧ (鉄棒)	ゲーム⑧ (ネット型ゲーム)	器械運動⑧ (マット運動)	体づくり運動⑮ (用具・移動・組み合わせ)	ゲーム⑦ (ゴール型ゲーム)

※基本的に水泳の実技は扱わない。水泳の心得、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方について指導することとした。

運動と健康との関連について具体的な考えをもてるよう配慮する

「器具や用具を共用する必要がある単元は、実施をなるべく後に回すよう配慮した。」

領域及び領域の内容	学習指導要領に示された内容					時数	
	内容の取扱い	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	当初の予定	再編成後	
A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動	二学年にわたって指導すること(3学年、4学年の両方で実施)	○	○	○	6	4
	イ 多様な動きをつくる運動		○	○	○	15	10
B 器械運動	ア マット運動		○	○	○	9	8
	イ 鉄棒運動		○	○	○	9	8
	ウ 跳び箱運動		○	○	○	7	7
C 走・跳の運動	ア かけっこ・リレー	児童の実態に応じて投の運動を加えて指導することができる	○	○	○	6	6
	イ 小型ハードル走		○	○	○	6	6
	ウ 幅跳び					0	0
	エ 高跳び		○	○	○	6	6
D 水泳運動	基本的に今年度は扱わない					10	1
E ゲーム	ア ゴール型ゲーム	ゴール型はミニサッカーを、ネット型はソフトバレーボールを、ベースボール型はティーボールを主として取り扱うものとするが、これに替えてハンドボール、ラグビー、フラッグフットボールなどを指導することもできる	○	○	○	8	7
	イ ネット型ゲーム		○	○	○	9	8
	ウ ベースボール型ゲーム					0	0
F 表現運動	ア 表現	学校や地域の実態に応じてフォークダンスを加えて指導することができる	○	○	○	5	5
	イ リズムダンス		○	○	○	5	4
G 保健	(0) 健康な生活	授業時数は2学年で8単位程度とすること	○ 知識のみ	○	○	4	4
						105	84

小学校学習指導要領 解説 体育編に「水泳運動系は生命にかかわることから、適切な水泳場の確保が困難で水泳運動系を扱えない場合でも、これらの心得については、必ず指導すること」とされていることから、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方についての理解も含めて指導することとした。